

博士課程 薬学専攻 カリキュラム

科目区分	授業科目	単位数		
		講義	演習	実験 実習
必修科目	先端医療薬学特論	2		
	薬学セミナー	4		
	医療薬学演習		6	
	医療薬学特別実験			12
	医療薬学特別演習		4	
選択科目	糖鎖生化学特論	1		
	薬物代謝・毒性学特論	1		
	分子薬理学特論	1		
	薬物送達学特論	1		
	病態分子分析学特論	1		
	薬物動態学特論Ⅱ	1		
	薬物放出制御学特論	1		
	神経内分泌機能解析学特論	1		
	免疫微生物学特論Ⅱ	1		
	創薬探索学特論Ⅱ	1		
	生薬漢方薬学特論	1		
自由選択 科目	健康長寿科学特論	1		
	食品科学特論	2		
	栄養科学特論	2		
	人類遺伝学特論Ⅱ	1		
	科学英語:オーラル・コミュニケーション		1	
	科学英語:インディペンデント・リスニング		1	
	科学英語:アカデミック・プレゼンテーション		1	
	科学英語:アカデミック・ライティング		1	
	科学英語:スモールグループディスカッション		1	
	科学英語:科学論文エディティング		1	
	科学英語海外研修プログラム		2	
	フロンティア科学特論Ⅰ		1	
	フロンティア科学特論Ⅱ		1	
修了必要 単位数	必修科目 28 単位 選択科目 2 単位（自由選択科目は含めない） 合計 30 単位			

なお、未記載の講義概要については担当教員に確認のこと

修了要件

本課程を修了するためには、以下にあげた計30単位以上を修得しなければならない

1) 先端医療薬学特論 (2単位)

医療薬学分野における最新の知見とその基礎となる考え方、実験手技について講義する
先端医療薬学特論 (15回講義) の履修により2単位が与えられる

2) 基礎薬学特論 (2単位)

以下の11科目より2科目を履修することにより2単位が与えられる

糖鎖生物学特論、薬物代謝・毒性学特論、分子薬理学特論、薬物送達学特論、病態分子
分析学特論、薬物動態学特論 II、薬物放出制御学特論、神経内分泌機能解析学特論、免
疫微生物学特論 II、創薬探索学特論 II、生薬漢方薬学特論

3) 薬学セミナー (4単位)

1～4年次を通して月例セミナー、大学院特別講義、その他研究科委員会の認めたセミ
ナーや講演会などに少なくとも20回出席する。出席の認定は、所定のセミナーあるい
は講義ごとに出席カードの提出および出席表への署名で行う。出席カードは各自が保管
し、所定の時期に学生室に提出すること

4) 医療薬学演習 (6単位)

以下の(1)～(2)により6単位が与えられる

(1) 1～4年次に開催される所属講座・研究室セミナーへの参加と発表 (4単位)

(2) 学会発表 (演者) (1回につき1単位) (2単位)

5) 医療薬学特別実験 (12単位)

所属講座・研究室において実験・研究により12単位が与えられる

6) 医療薬学特別演習 (4単位)

学術論文及び博士論文の作成指導